

## 平成 23 年度 第 5 回 石狩市地場企業等活性化審議会

日 時 平成 24 年 1 月 17 日 (火) 15:00～16:10

場 所 市役所本庁舎 5 階 第 2 委員会室

出席者 北山雀会長、後藤正和副会長、松尾拓也委員、有田祐司委員、瀬尾英幸委員

欠席者 岡林位和委員、和田郁夫委員、大江徹委員、荒関淳一委員

【事務局】 企画経済部 部長 佐々木隆哉  
商工労働観光課 課長 武田渉  
商工労働観光課 主査 中村一郎、高石康弘  
商工労働観光課 主任 田原朋学

傍聴者 0 名

※ 本審議会により答申案決定。

=====

【北山会長】

定刻より少し遅れましたが、ただいまから第 5 回目の審議会を始めます。

今日ご出席いただいたみなさまには、1 月に入りまして大変お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日で 5 回目ということで、最終の審議会になると思いますが、よろしくをお願いします。

本日は、答申案について審議していきます。昨年 11 月 25 日に第 4 回目が開催されまして、そこで一通りの議論を終え、今まで審議いただいた内容を事務局がまとめまして、昨年 12 月 22 日に委員のみなさまからご意見を伺うために答申案を送付いたしました。その後、石狩商工会議所から答申案について色々ご意見をいただきましたので、そちらを中心に検討していきたいと思えます。

それでは、お手元にある答申案対照表ですが、左側が昨年 12 月 22 日に送付した答申案で右側がご意見いただいた内容を追加・訂正したものとなっております。

まず、1 ページ目は変更ございませんので、3 ページ 1 行目をご覧ください。本市産業の活性化・自立型経済への取り組みで、「本市の最大の強みである同地域を活用し」の後の部分で「市のみならず地域が」について石狩商工会議所からご意見がございました。この部分について石狩商工会議所より説明をお願いします。

【松尾委員】

石狩商工会議所の松尾です。今の部分ですが一つは「市のみならず地域が」という部分をフラットに「市と地域が」でもいいのではないかと思います。そして、2 つ目に「企業立地による地域経済への波及効果」という部分の前に、あらゆる角度から多面的に検討を進めていただきたいということから、「あらゆる角度から検討を進め」ということの 2 点を追加、修正をお願いできればと考えております。

【北山会長】

今、会議所の立場からお話がありました。「市と地域が」の表現については、市と地域、地場企業等も含めて同一的な扱いにということですが、文言はいかがでしょうか。ご意見がございました

らお願いします。ご意見がないようですので「市と地域が」に変えたいと思います。次に、「あらゆる角度から検討を進め」の文言追加については、いかがでしょうか。ご意見がないようですので「あらゆる角度から検討を進め」を追加させていただきます。

次の 4 ページ目。下段の部分「また、石狩湾新港地域の活性化は本市経済の活性化にとって極めて重要であり、」のところを「重要である。」と区切っておりますが、ここの部分は会議所からのご意見でしょうか。

【松尾委員】

はい。その後、個別に追加をさせていただきたい項目があるので、文章が長くなるためにここでいったん区切らせていただきました。

【北山会長】

ここの表現について、いい悪いということではないのですね。

【松尾委員】

そうです。

【北山会長】

では、ここの「重要である。」と区切ったあとの追加した文言について説明をお願いします。

【松尾委員】

はい。石狩湾新港地域の活性化は、当市の経済にとって重要であると前段で書いてありますので、その新港地域が、例えば火力発電所の立地の決定やこの度の東日本大震災を受けて、今後、防災計画が変わることなどあると思いますので、様々な観点から中長期的に見て検討が必要ではないかという問題意識を会議所として持っておりますので、今のままでいいのだろうかという問題提起で、文言を追加していただきました。

【北山会長】

ということで、4 ページの下段から 5 ページの 2 行目まで次の文言が追加されております。「今後、石狩市地域防災計画の改定や LNG 火力発電所建設に伴う同地域内の土地利用の見直し検討、津波等に対応出来る避難・救援等の主要通路確保なども含め、中長期の視点に立ったハード面での検討が重要であり」という文言が追加になっております。このことについていかがでしょうか。意見がないようなので文言を追加させていただきます。

それでは、個別施策について 6 ページ目。(2) 地域産業クラスターに向けての検討促進ということで、現在産業クラスターは石狩市内にはないですね。それについての検討促進ということでございます。「地域産業クラスターを」の前に「地域全体として」ということを事務局から付け加えさせていただきます。

【事務局 (武田課長)】

産業クラスターの前に地域全体でそういうものを行うべきものだとということで、より分かりやすく表現するために付け加えさせていただきたいと思います。

【松尾委員】

いいと思います。

【北山会長】

では、追加させていただきます。次に「各団体や支援組織などで同業種の部会等の定期的な交流

の場を設けたり」の部分「市と市内経済団体は」に修正して欲しいということで、石狩商工会議所よりご説明をお願いします。

【松尾委員】

まず 1 点目。会議所には、同業種によって構成される部会があり、その中で交流をしておりますが、地域産業クラスターに向けた取り組みというような組織立てには正直なっておりません。そして 2 点目。支援組織ということですので、もし支援組織の具体像がある程度見えているのであれば、その組織を書いていただいてもいいと思うのですが、現状でそのようなものがないということであれば、市と市内経済団体が一緒になって推進をしていくという書き方でいいのではないかという意見でございます。

【北山会長】

会議所では、同業者の部会があり、色々検討されているのですね。そして、支援組織というのは、会議所以外で、農協や漁協など各団体で部会を設置して交流するというのでしょうか。

【事務局（佐々木部長）】

農協、漁協などは、生産品目ごとに部会があります。ただ、そちらと産業クラスターというのは、なかなか結びつかないかなという感じです。

【松尾委員】

そうですね。仮に産業クラスターということを目指すのであれば、その垣根を少し乗り越えて何か一緒に考えていかないと、そこまで大きい仕掛けにはならないのではないかと思います。このように修正をした方がいいのかなということで会議所として意見を出させていただきました。

【北山会長】

ほとんどの 1 次産業の団体も議論されているということですので、あえてここまでの文言は必要ないのではないかと思います。では、「市と市内経済団体は」に修正するということがいかがでしょうか。特にご意見がないようですので修正させていただきます。

次に（４）金融支援の強化。「これまでどおり」の部分「今後さらに」に修正して欲しいということで、これは修正していいと思うのですが、いかがでしょうか。特にご意見がないようですので修正させていただきます。

次に 7 ページ目。（１）関係機関等との協議・協力体制の強化（２）労働力確保への支援。「有償ボランティア制度なども含めて」という部分を割愛するということが事務局をお願いします。会議所からは、有償ボランティアを入れるのであれば、具体的に例示してはどうかというご意見があります。

【事務局（武田課長）】

最初、有償ボランティア制度なども含めたということで表現しており、会議所から詳しい例示があったほうがいいのかということでしたが、例示することにより極端な縛りになる表現はいかがかなと、逆になくても話が通じるということで、今回は割愛することを提案させていただいております。

【松尾委員】

会議所としては構いません。

【北山会長】

流れとしてこういったことも理解できるのでよろしいと思います。

【瀬尾委員】

それはそれでよろしいと思います。ただ、有償ボランティア制度ということがそもそもピンとこないのですがどういったことでしょうか。

【事務局（武田課長）】

対価のあるボランティアです。対価とは金銭のほかに、例えばポイントをもらってそれを地域で使える地域通貨に変えたりとか、そのような制度を用いて町おこしや活性化をしようという取り組みがあります。

【瀬尾委員】

そのような事例があるのですか。

【事務局（武田課長）】

他市町村であります。そのような動きが市内でも出てきており、次の計画の中で実際検討も始まりそうなので最初は入れておりました。会議所から例示してはどうかという意見があったのですが、まだ、どういった人たちが関わるかなど方向性が決まらないうちに例示は少し早いだらうということもありまして、それであれば抜いたほうがすんなり読めますし、あらゆる方向へ次の展開に持っていくやすいだらうということで、今回は抜かせていただきました。

【事務局（佐々木部長）】

今のところは、福祉的な面で活躍してもらおうという流れできているものですから、それが経済活動の助けになるような所まで持っていけるかどうかは、非常に微妙な話でして、それをやってしまうと労働政策などにも影響を与えてしまう可能性もありますので、ここで有償ボランティアの話をするのは少し慎重に考えた方がいいのではないかというのが事務局としての考えです。

【北山会長】

そうですね。これは割愛させていただきます。

次に 8 ページ目。(1) 魅力ある商店街づくり (2) 建設業の革新 (3) 取引関係の強化拡大。「本市においては、軌道系交通がないということ」のあとに「また、人口が密集する花川・花畔・樽川地域では大規模な団地開発や土地区画整理事業によって都市基盤整備が進められ、開発エリア毎に商業地が形成されたことなどにより」が追加されておりますので、会議所よりご説明をお願いします。

【松尾委員】

過去に商店の集積が困難な状況があって、そこから発生して現状があるという認識は同じだと思うのですが、軌道系交通がないということ以外にも、街の形成期に商業地が中核的に形成されていないという部分もあると思いますので、そこをきちんと明示していただきたいということです。

【北山会長】

これは、過去の都市計画の整備ですね。人口が密集するなど比較的集積度が高いということだと思いますが、花川地域において団地開発や都市計画整備事業が行われてきましたが、大型店の出店などにより消費購買力や後継者がいなく商店が辞めてしまい形成が低くなってしまったという状況ですね。こういった歴史的なことも盛り込んでいくということですね。これについてはいかがで

しょうか。

【瀬尾委員】

私は非常にいいことだと思います。

【北山会長】

わかりました。では、こちらを追加いたしましょう。では、次に「そして、大規模な商業集積を行うなどハード面での施策の実施は、本市や地域事業者の負担が大きいことから、ソフト面での施策を重視し」を割愛するところを会議所よりご説明をお願いします。

【松尾委員】

先ほどの冒頭の問題意識とも関連しますが、そもそもそういった状況もありますので、今からどういった施策があるかというのは、とても難しい問題ではありますが、やはりソフト面だけではなく、ハード面も意識をしながらどんなことができるか模索しながら進めていかなければ、商店街の活性化というのは、なかなか難しい部分があるのではないかと会議所としては、そのように考えております。

【北山会長】

先ほど議論しました 4 ページ目の部分ですね。商店街だけの視点でのハード面整備というのは、なかなか難しいので、今後石狩市の防災計画などとリンクさせていけるような、もっと大きな視点でのハード面整備の検討が重要ということですね。それでは、ご意見がございましたらお願いします。ご意見がないようですので割愛させていただきます。

次に「建設業においては、長期的に見ると公共投資縮減は必然の流れであり、自主自立の観点からも」の「自主自立の観点からも」を割愛するところを会議所よりご説明をお願いします。

【松尾委員】

自主自立の観点からという文言が必要かどうかということで、会議所としては必要ではないと考えました。公共投資の受注というものが自主自立ではないという書き方に見えてしまうものですから、やはり地域に必要ということで公共投資が行われているので、そういったことから自主自立の観点ということとは、少し違うのではないのかなというのが会議所としての考えです。

【北山会長】

前段で公共投資の投資削減が必然的な流れですので、建設業としても何か新しい異業種なり自主的に新しい道を進んでいるということで、あえて必要が無いということですね。

【松尾委員】

そうです。もちろん努力は必要だと思っております。

【北山会長】

それでは、ご意見がございましたらお願いします。ご意見がないようですので割愛させていただきます。

次に「取引関係を強化し、地域経済を活性化するためには、ソフト面での施策が重要」を「取引関係を強化することで、地域経済の活性化を目指すためには、ソフト面での施策が重要」に変えることについて会議所よりご説明をお願いします。

【松尾委員】

先ほど、事務局の武田課長からお話しありましたけども、石狩商工会議所としては、ここに先ほ

どお話のあった新港地区のハード面整備を言及しておりましたが、計画全体の方で加えていただいたので、ここはこういう流れでいいのかなと思います。

【北山会長】

それでは、ご意見がございましたらお願いします。ご意見がないようですので変更させていただきます。

次に 5. 地場企業等の支援システムの形成。(1) 組織体制の強化(2) 起業等相談連携体制の確立。「市と市内経済団体は、相互に連携し組織化を図ることで支援体制を強化することが必要である」を「中核的かつ機動的な支援体制の組織化が早期に図られるよう期待する」に変更するということで、会議所よりご説明をお願いします。

【松尾委員】

行政や経済団体等が連携し組織化していかなくてはいけないというところは、会議所も一緒のことを考えているのですが、主旨としては、どこかがメインとなって、相談をしたいという人が、そこに行けば支援を受けられてアドバイスをもらえるという、中核的なものが必要ではないかということ。個人の意見では、計画なので期待するという感じの言い方ではないほうがいいのかなという気がします。

【事務局（武田課長）】

みなさんのなかでどういった団体が共有されているのかなというのがありまして、この表現を入れるということは、ある程度イメージがないと、今後の計画や地域でどういうところを目指すかというものが、非常に構成がつかみづらくわからない状況があります。

【後藤副会長】

会議所もここに、ストレートな文言をいれるわけにはいかないのかなと考えておりました。確かにこれでは、わかりづらいですね。最初の市と市内経済団体という文言がわかりやすいかといったら、これはまたどこが中心となってやるのかが明示されていないままでいいのだろうかという色々な矛盾点があって、悩んだ末に非常に曖昧な表現になってしまったということです。ですから、これは議論していただいたほうがいいと思います。

【北山会長】

イメージですね。どんな窓口というか、集約するセクション。どこがいいでしょうかね。

【後藤副会長】

行政としては、これに関して組織体制や支援体制は、どういう風にもっていこうというお考えでしょうか。

【事務局（武田課長）】

基本的には、一緒にとというのがあります。会議所は、今までも市内の事業者を盛り上げていくコーディネーター的役割を担っていただいておりますし、今後もさらに引っ張っていただければというのも当然あります。ですが、こう書くと何か新しくメイン組織というのが、会議所の他にどういう組織がこれから作られていくべきかということになってくるのですよね。

【松尾委員】

これに関しては、もう少し検討が必要なのかもしれないですね。

【北山会長】

これはたいへん重要なことですよ。

【後藤副会長】

一番大事なことなので中途半端に文言でさらっといって、どこが中心となるのか分からない表現でいいのだろうかという思いがあります。ただ、明確にするのも今の段階で、会議所が中核になってやってくださいといわれたときに会議所としてもどうしようかというところですよ。

【事務局（武田課長）】

最初の案にも、そこは書いておりません。関係する団体などは、それぞれの分野で中心になってやっていかななくてはいけないし、支援するのもその事業に関する支援というのも当然でできますし、ということでこれはいかようにもというところなのです。

【後藤副会長】

経済団体というのは、この審議会のメンバーがそれぞれの経済団体の方ですので、みなさんが連携して協力するというのは当然わかりますし、すべきだと思うのですが、どこが主体となってやっていくべきなのかというところが、今の段階では難しいですよ。

【事務局（佐々木部長）】

地域資源として考えた時に、石狩というエリアをまとめて相談体制をつくるのは本当に有利なのかという検証も必要だと思います。すぐそばに札幌市があり、札幌市とどう繋げていくかということも当然考えていかななくてはなりません。このところは体制の組織化ということよりも、相談したいときにどこに行けばよいのかということを確認に情報として提供できることを目指すべきなのではないでしょうか。そうしますと、組織化という言葉ではなく、支援体制の明確化とかそういう表記からスタートしたらいかがでしょうか。

【松尾委員】

会議所で検討した時も、組織化ってなんだろうという話ができました。

【後藤副会長】

わかりやすく言えば、相談窓口の明確化が必要なのです。そういうことを具体的に考えましょうということから始めた方がよいのかもしれないですね。

【北山会長】

各経済団体が話し合っって協議する第三者的な協議会的なものはなかったのでしょうか。

【事務局（佐々木部長）】

実務的な相談事をする場はあるのですが、外から相談を持ち込まれて何か対応するという機能はないですね。

【北山会長】

当然、当面そういう課題というのはあると思います。

【松尾委員】

前の文章の「組織化を図ること」を外して、強化の他にもうひとつ何かはっきりわかるようにする単語が入ると、なんとなく今言ったイメージになるのかと思います。

【後藤副会長】

組織化ができれば、それはそれであって然るべきことですよ。

【瀬尾委員】

具体的に組織化というのは、どういうことでしょうか。

【事務局（武田課長）】

その事業によって形もそれぞれ変わるとは思います。一体的に全部受け止めて情報を提供したり、道筋をつけてあげるという組織は基本的にできていないですし、作るのも非常に難しい環境にあります。今は、経済団体が集まって色々なことを話し合い、物事を進めるときに関係する石狩商工会議所や石狩観光協会の方たちで組織して物事を動かしていったりなどそういう形で動いております。ただ、その時々で組織の形や関わり方の深さが変わって動いておりますが、このようなものも一つの組織といえると思います。具体的な組織構成などのイメージはありません。

【後藤副会長】

前の文章の「市と市内経済団体」というのは、一度抹消しましたが、現状としてはそれ以外考えられないので、再度「市と市内経済団体」という文言を復活するのであれば、「相互に連携し組織化を図ることで支援体制強化すること」のところを組織化を図ることで支援体制を強化するのではなくて、「市と市内経済団体は、相互に連携し支援体制を強化することが必要である」というのはいかがでしょうか。

【松尾委員】

そうですね。今の話では、組織化というイメージではないですね。その都度、連携をしていくということですから。組織化を図れば、それはそれで良いことなのでしょうけれども。

【事務局（高石主査）】

組織というと形ですよ。そうではなく情報が明確に伝わる、相談体制が整っていて情報が集まっているところがあればいいのではないのでしょうか。

【松尾委員】

情報の共有化ですね。

【後藤副会長】

情報の共有化という言葉に置きかえるのであれば、「相互に連携し情報の共有化を図ることで支援体制を強化することが必要である」というほうが受け入れやすいかもしれないですね。

【松尾委員】

だいぶわかりやすくなるかもしれないですね。「組織化」の代わりに「情報の共有を図る」でもいいかもしれないですね。

【北山会長】

そうしますと、この右側の「中核的かつ機動的な支援体制」のところに入れますか。

【後藤副会長】

それより、左側の元の文章を生かしたほうがいいのではないのでしょうか。「相互に連携し組織化を図る」を例えば、組織化の代わりに「情報の共有化を図る」に代えるのも一つの方法かなと思います。

【北山会長】

そうですね。そして、支援体制を強化することが必要であるということですね。組織化となるとイメージがなかなかできないですよ。今後、その辺は具体化していくのでしょうか。色々と情

報を共有していく中で、今後どこかの組織がリーダーシップをとってまとめていくことになるので  
しょうかね。

【松尾委員】

会議所としては、そういったことまでできるのであればということで、右のほうの文面になった  
のですが、そこまで機が熟していないということであれば、左のほうを生かしていただいたほうが  
いいのかなと思います。

【北山会長】

それでは、会議所から再度ご意見があり、左側の元の文章を生かして「市と市内経済団体は、相  
互に連携し情報の共有化を図ることで支援体制を強化することが必要である」というような文言で  
よろしいでしょうか。

【事務局（武田課長）】

最終的に全体を見直して、会長と最後詰めるような形で修正をさせていただきたいと思います。

【北山会長】

主旨はよくわかりましたので。大変重要なところですので。そういうこととさせていただきます。  
それでは、9 ページ目。「また、販路開拓、商品開発や新事業創出等の相談については」の「相談」  
と、「これらの相談体制について」を割愛するというので会議所よりご説明をお願いします。

【松尾委員】

これは、文章中に継続的な相談体制が重要という文言があるものですから、それで足りるかなと  
それだけです。相談が不必要ということではありません。

【北山会長】

この辺は、他のところで表現されているので、割愛ということでよろしいですね。以上で、一部  
割愛、一部修正をしながら答申案がほぼまとまったと思うのですが、何か追加のご意見ありますで  
しょうか。先ほど事務局のほうからもご説明がありましたが、ご承認いただければ多少の文言の修  
正があれば、私のほうで一括させていただきます。

【松尾委員】

お願いします。

【瀬尾委員】

ちょっと一つだけ。修正案の 5 ページ目。「今後、石狩市地域防災計画の改定や LNG 火力発電  
所建設に伴う同地域内の土地利用の見直し検討、津波等に対応出来る避難・救援等の主要通路確保  
なども含め、中長期の視点に立ったハード面での検討が重要」とありますが、これはこれで結構だ  
と思いますし、私もかねてから 3.11 以降、石狩においてもこういうことを、まず前面に打ち出す  
ことが大事だと思っております。ただ、ソフト面も大事ではないかと思うのです。津波や火災など  
の大きな災害のとき、車での避難は避けられないと思います。つい 1 週間位前にラジオで聞いたの  
ですが、東日本大震災の実態調査で避難するのに車両をつかった人が 50 数パーセント半分以上の  
人が車で避難しているというデータがあるようです。特に、石狩湾新港のような広域になりますと  
車で逃げるなというのは無理だと思います。車で逃げるのを前提にしたソフト面、例えば大震災で  
火災にあっても、ここから車を遮断するなどのハード面もさることながら、交通整理などのソフト  
面の整備も必要ではないかと思います。これは、ここだけの話ではなく、むしろ公安委員会や警察

等の大掛かりな話になりますが、そのようなことも念頭において市の方で検討していただければと思います。そうしますと、車で通勤している人たちも普段から、そういう問題意識になり、いざという時の安心感を市外から通勤している人たちにもあたえて、石狩市や石狩湾新港に対する信頼感も増すのではないかと考えます。以上です。

【北山会長】

そうですね。大変重要な話だと思います。昨年、東日本大震災があつて、石狩も当然、新港地域では車で避難する方がたくさんいらっしゃると思います。津波ですと、海岸線に並行している道路は使えないので、内陸につながる道路を優先して整備をしないといけないし、瀬尾さんがおっしゃったようにソフト面とハード面の両面を含めて計画を見直してほしいと思います。新港地域がありますので、避難についても内陸に抜けられるような車のアクセスをもう一度整備し直す必要があるのかなと思います。

【後藤副会長】

その通りですね。ここに書いてある「避難・救援等の主要通路確保なども含め」というのがまさにそのことを謳っております。ご存じのように国道 337 号線ですら海拔 5 メートルで、石狩湾新港地域というのは国道 337 号線に囲まれておりますので、基本的には津波がきたら、車で逃げるしかないと思います。今、おっしゃたように横に走っている道路はたくさんありますが、花川地区に抜ける道路は限られており、非常に問題だということで色々なところで道路をつけてほしいという話があります。簡単にはいかないと思うのですが、ハード面での検討が重要になると文言を入れたのは、会議所としてもそれをするによって新港地域と花川などの石狩地域との交流や経済協力もできていくだろうし、それが活性化につながるという思いもありいれさせていただいたつもりです。

【北山会長】

そういう意味も含めてということなので、ぜひよろしくお願いします。

【事務局（佐々木部長）】

新年度、新港地域に限定した防災計画の検討がされる予定でして、市と新港地域の企業と一緒に作っていくということになりますので、それに先だった話なので、若干勇み足的な感覚がないわけでもないですが、こういうご意見もありますよということについて、答申の中で謳うのはよいと思います。防災部局の方にもこういう考え方もあることを伝えさせていただきます。

【北山会長】

今、まさしく花川の商店街と新港地域との関わりが全然ないので、やはりアクセスをうまくできるように見直しの中に入れ込んで、実際に道路のアクセスができれば、まだ他にも見直さなくてはいけないところはありますが、この中では商店街の問題として提起していますということでよろしいかなと思います。

【後藤副会長】

防災計画としても必要です。そして、それがひいては経済効果も生む可能性もありますよということですね。

【松尾委員】

財源も厳しい折に、ひとつのことをひとつの目的だけでやるのではなく、色んな意味で意味のある波及効果があることなので、多面的に捉えていただき、ぜひすすめていただければということ

す。

【瀬尾委員】

防災の姿勢というか、姿勢だけでは駄目ですが、毎年毎年、大きな目的にたいして構想があって、追求し続ける姿勢が大事だと思います。この時代ですから防波堤を作るとか土地をかさあげするなどということは難しいということは分かっています。いつ襲ってくるかもしれない災害に対して、すぐに巨額な費用を投じることは現実的ではない。毎年の積み重ねの努力というそのような姿勢を外部の人が評価してくれるのではないかと思います。慎重な経営者であれば海岸側を諦めて内陸で操業しようと考えますから、市としてこれだけ対策や努力しているという姿勢をみせることで説得力が増すと私は思います。

【北山会長】

新港地域のさらなる発展のためには、市がそのようなスタンスを持っていますというのは必要だと思いますので、付帯的な意見としてよろしくお願ひしたいと思います。それでは、全ての意見が出ましたので答申をまとめさせていただきます。その他ということで答申の日時ですが、事務局のほうから案があればお願ひいたします。

【事務局（武田課長）】

みなさま大変ご苦労様でした。本日の会議をもって、最後に文言修正等を会長に確認していただいて完成とさせていただきたいと思います。答申の日程なのですが、1月20日の13時30分から執り行いたいと考えております。委員の皆さんには、お時間が合えばご参加いただければと考えております。場所は、市長応接室を予定しております。

【北山会長】

出席します。

【後藤副会長】

出席します。

【松尾委員】

出席します。

【有田委員】

業務がありますので欠席します。

【瀬尾委員】

予定が入っておりますので欠席します。

【事務局（武田課長）】

それでは、会長と副会長と松尾委員が出席予定ですね。本日参加できなかった委員には、事務局から確認させていただきます。

【北山会長】

では、5回の長丁場で至らない進行で申し訳ございませんでしたが、今後ともみなさまよろしくお願ひしたいと思います。本当にどうもありがとうございました。

平成 24 年 2 月 16 日 議事録確定

石狩市地場企業等活性化審議会

会 長 北 山 雀